

経済学 (Economics)		5年・通年・2学修単位(β)・選択 5学科共通 担当・大谷 和
[準学士課程 (本科1-5年) 学習教育目標 (1)]	[システム創生工学教育プログラム 学習・教育目標 A-2 (80%) A-1 (20%)	[JABEE 基準] (b) , (a)
[講義の目的] 現代社会の動きは、経済の動きによって最終的に決定されている。 この経済の現実の動きを経済理論をもとに考える。		
[講義の概要] 経済理論を日常生活との関連を考えながら、わかりやすい「入門の入門」という本を使用する。		
[履修上の留意点] 将来、社会人になった時、役立てるつもりで経済を勉強してほしい。 ノートをきちんととること。		
[到達目標] ○ 前期末試験 ①お金の動きと経済のしくみとの関係を理解する。 ②日本経済と世界経済のしくみを理解する。 ○ 学年末試験 ①経済学の全体像を把握する。 ②景気と経済とのしくみとの関係がわかる。 ③暮らしとモノの値段と経済のしくみとの関係を理解する。 ④企業・産業・政府と経済のしくみとの関係を理解する。		
[評価方法] 授業に対する取り組み・積極性 (20%) と 2回の定期試験 (80%) の成績で評価する。		
[教科書] 大和総研 (最新版『経済のしくみ』 日本実業出版社)		
[補助教材・参考書] 講義に関連する教材を適宜配布する。		
[関連科目] 3年次の政治・経済の学習との関連に、特に注意したい。		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	お金・金融と経済のしくみ	お金の役割、金の流れはエンドレス 中央銀行の仕事、金融政策 ゼロ金利、証券、金融市場の役割 金利の決め方、株価の変化	
第2週			
第3週			
第4週			
第5週	各国経済と経済協調のしくみ	アメリカ経済と中国経済 EU経済、オイルマネー 新興国経済、いろいろな経済連合 いろいろな国際機関	
第6週			
第7週			
第8週			
第9週	世界と日本の経済のしくみ	国際収支（経常収支・資本収支） 金利、経常収支と為替相場 購買力平価説	
第10週			
第11週			
第12週	経済の全体像と基礎知識	経済とは、3つの主体 マクロ・ミクロ経済 GDP、フローとストック アダム・スミスとケインズ以降	
第13週			
第14週			
第15週			
前期期末試験			
第16週	景気・指標と経済のしくみ	景気の先行き、日銀短観 消費と設備投資 輸出の変動、バブル以降の景気 景気循環と日本の成長	
第17週			
第18週			
第19週			
第20週	私たちの暮らしと経済のしくみ	暮らしやすさ、消費を決めるもの 所得格差、日本型雇用慣行 社会保障、少子高齢化	
第21週			
第22週			
第23週	モノの値段と経済のしくみ	物価指標、物価の推移 物価の決定、インフレ、デフレ グローバル化、原油価格	
第24週			
第25週			
第26週	企業・産業と経済のしくみ	市場経済、日本的経営 コーポレートガバナンス、国際化と起業	
第27週			
第28週	政府と経済と経済の仕組み	政府の役割、国の予算 行政改革、規制改革 財投、地方分権	
第29週			
第30週			
学年末試験			

*4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった，0：まったく理解できなかった，